

田辺市都市計画マスタープラン

アンケート調査の結果

平成 30 年 1 月

田 辺 市

～目次～

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査概要	1
2. 調査結果	2
問1：性別	2
問2：年齢	2
問3：職業	2
問4：居住地域	3
問5：居住年数	3
問6：現在の田辺市のイメージ	4
問7：お住まいの地域の生活環境	5
問8：今後の居住意向	10
問9：将来の田辺市のイメージ	11
問10：取り組んでほしい施策	13
問11：まちづくりに望むもの	14
問12：これからのまちづくりで重要だと思う方策等	20

1. 調査概要

(1) 調査目的

都市計画に関する基本的な方針となる「田辺市都市計画マスタープラン」の改訂にあたり、広く市民の意見等を把握し、その結果を反映させていくことを目的にアンケート調査を実施した。

具体的には、田辺市や居住地域に関する現在の魅力や課題等を評価して頂いた上で、望ましい将来像や施策等を回答して頂いた。特に、日々の暮らしの中で市民が、改善すべきと考えている課題を明らかにしつつ、課題解消等のために何をすべきかを検討する手掛かりとしていくものとする。

(2) 調査概要

①対象者

田辺市内在住の18歳以上の市民2,000人を無作為に抽出し、郵便による配布・回収を行った。なお、宛名本人による無記名での回答を依頼した。

②調査方法

対象者にアンケート票を郵送による配布を行い、郵送による回収を行った。

③回収状況

回答数：923票、回収率：約46.2%

④調査項目

- ・回答者の属性（性別、年齢、職業、居住地域、居住年数）
- ・現在の田辺市について（現在のイメージ、生活環境の満足度、居住意向）
- ・将来の田辺市について（将来のイメージ、期待する取り組み・まちづくり）
- ・自由意見

⑤集計方法

各設問に対して前回調査（平成20年度）と比較した単純集計を行った。

また、居住区域を「地域別」に分類しクロス集計を行った（対象設問：問7、9、10、11）。地域の区分と票数は以下のとおりである。

- ・構成比は、居住地域の回答数をもとに算出している。
- ・回答数の少ない地域は、一票の重みが大きくなることを踏まえ、結果の取り扱いには注意を要する。
- ・また、居住地域不明が39件あるため全体の数は回収合計数と一致しない。

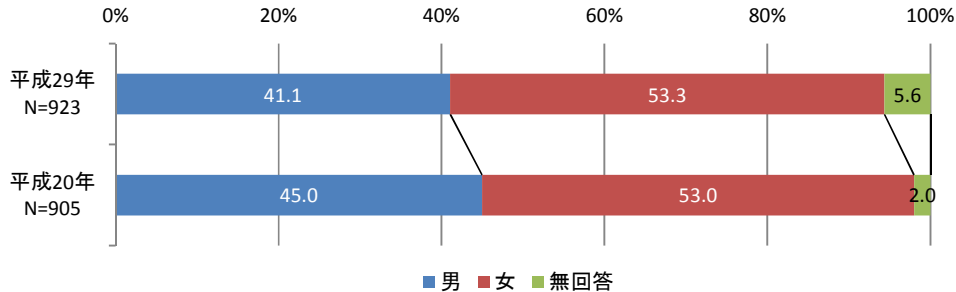
地域区分	詳細	票数
①旧田辺市 用途地域内	上屋敷一～三丁目、中屋敷町、下屋敷町、新屋敷町、南新町、北新町、栄町、今福町、福路町、本町、紺屋町、片町、湊、磯間、末広町、高雄一～三丁目、江川、古尾、天神崎、上の山一～二丁目、新万、朝日ヶ丘、あけぼの、南新万、むつみ、宝来町、東山一～二丁目、学園、文里一～二丁目、神子浜一～二丁目、明洋一～三丁目、神島台、芳養松原一～二丁目、※の字の一部	355
②旧田辺市 都市計画区域内	扇ヶ浜、※の字の一部	96
③旧田辺市 都市計画区域外	上芳養、中芳養、上秋津、秋津川、上三栖、中三栖、下三栖、上野、長野、伏菟野、城山台	101
④田辺市内 その他の地域	旧龍神村、旧中辺路町、旧大塔村、旧本宮町	332

※元町、目良、上万呂、中万呂、下万呂、秋津町、稲成町、芳養町、新庄町、たきない町

2. 調査結果

【回答者の属性】

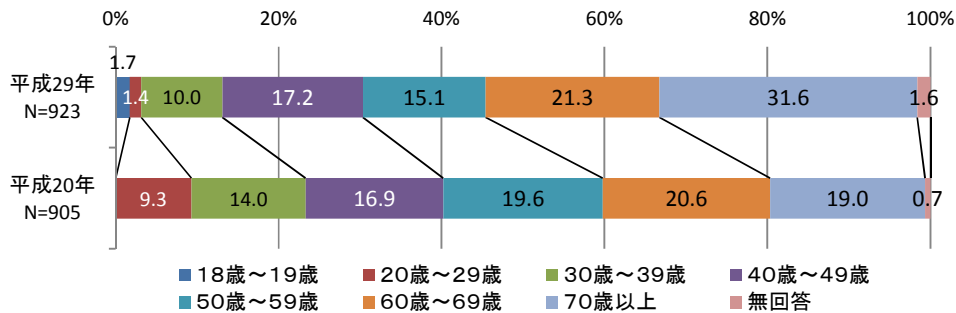
◆問1 あなたの性別をお答え下さい。(1つ選択)



○性別

前回調査と傾向はほぼ同じで、女性からの回答がやや多い結果となった。

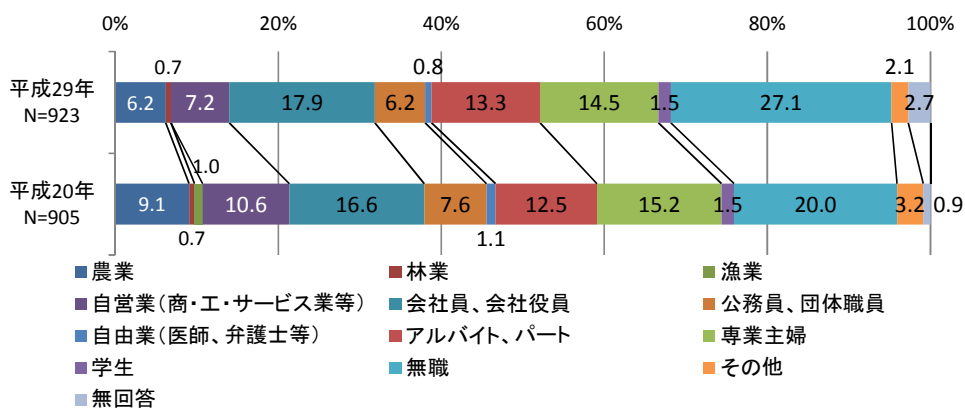
◆問2 あなたの年齢をお答えください。(1つ選択)



○年齢

前回調査と比較すると、「70歳以上」の回答が約12%増加し、「20歳～29歳」の回答が約8%減少した。なお、平成20年調査では「18歳～19歳」の選択肢は設けていない。

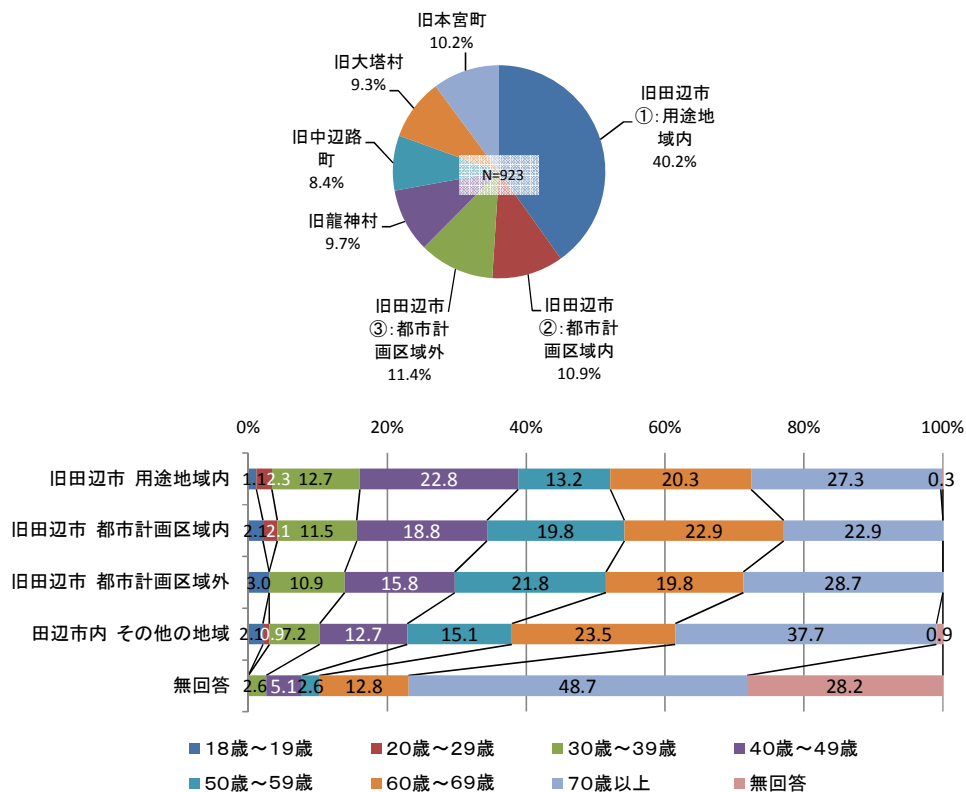
◆問3 あなたの職業をお答え下さい。(1つ選択)



○職業

著しい傾向の変化はないが、「農業」や「自営業」が約3%減少し、「無職」が約7%増加した。また、「会社員、会社役員」「アルバイト、パート」の割合がわずかに増加した。

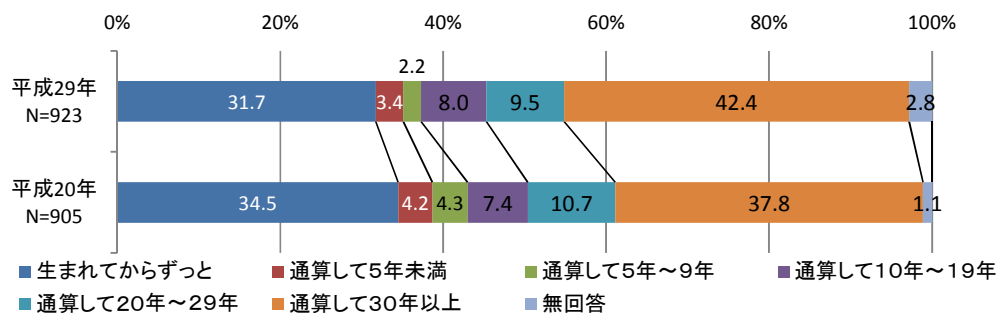
- ◆問4 あなたのお住まいの地域はどこですか。(旧田辺市の方は、図や大字名を確認の上、お住まいの地域を選択してください。)(1つ選択) ※平成20年調査は選択肢が異なる



○住まい

「旧田辺市①用途地域内」が約4割を占め最も多く、「旧田辺市③都市計画区域外」が約11%で次に多い。また、「旧田辺市外」からの回答は約38%で「旧田辺市①用途地域内」とほぼ同じ割合となった。

- ◆問5 田辺市(旧田辺市、旧龍神村、旧中辺路町、旧大塔村、旧本宮町)にお住まいになってどれくらいになりますか。(1つ選択)



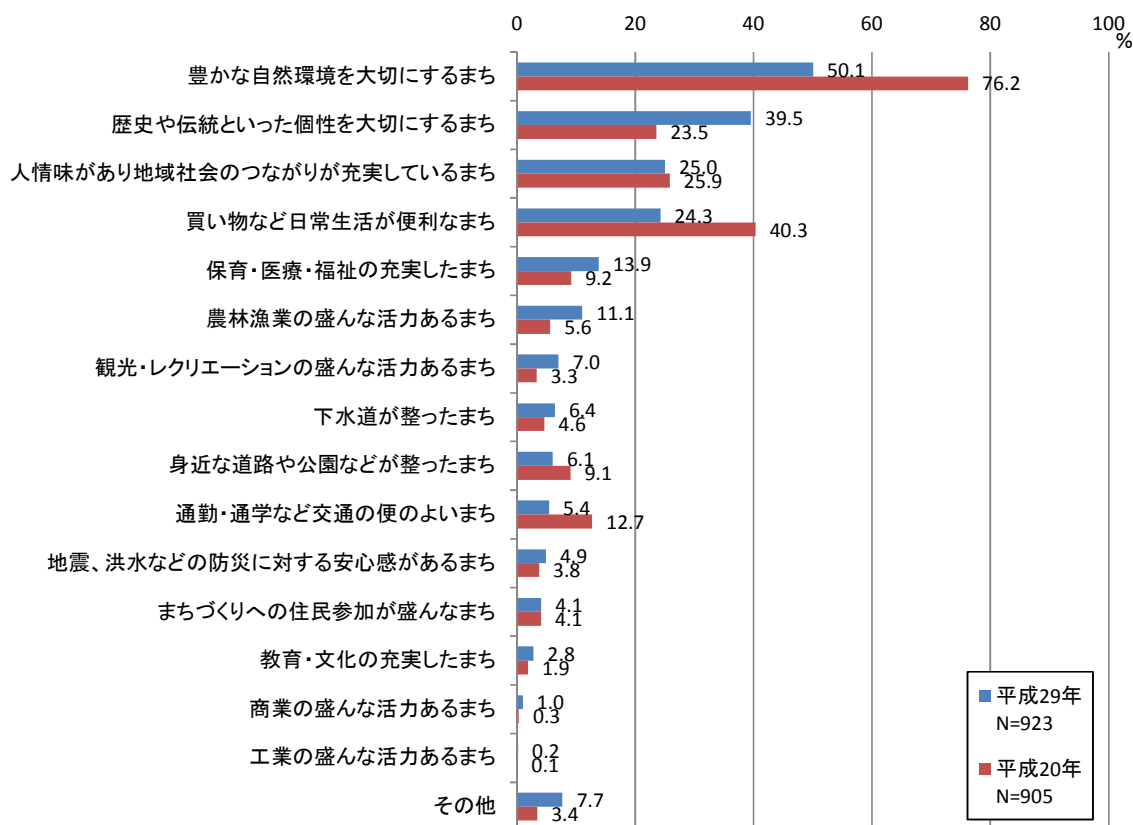
○居住年数

前回調査同様、「通算して30年以上」が約4割を占め最も多く、「生まれてからずっと」が約3割で次に多い。居住年数が10年未満の回答は約6%であった。回答者の大半が田辺市に長く住み、田辺市に馴染みのある市民であると考えられる。

【現在の田辺市について】

◆問6 あなたにとって、現在の田辺市のイメージはどれだと思いますか。(3つまで選択)

※回答者数に対する票数を割合で図示



○現在の田辺市のイメージ

前回調査から約 26%減少したものの、「豊かな自然環境を大切にするまち」が半数を占め最も多い。また、今回調査では「歴史や伝統といった個性を大切にするまち」が約 4 割を占め次点となった。

その他の項目の変化としては、「保育・医療・福祉の充実したまち」「観光・レクリエーションの盛んな活力あるまち」がそれぞれ約 4%程度増加し、「農林漁業の盛んな活力あるまち」の割合は約 2 倍に増加した。

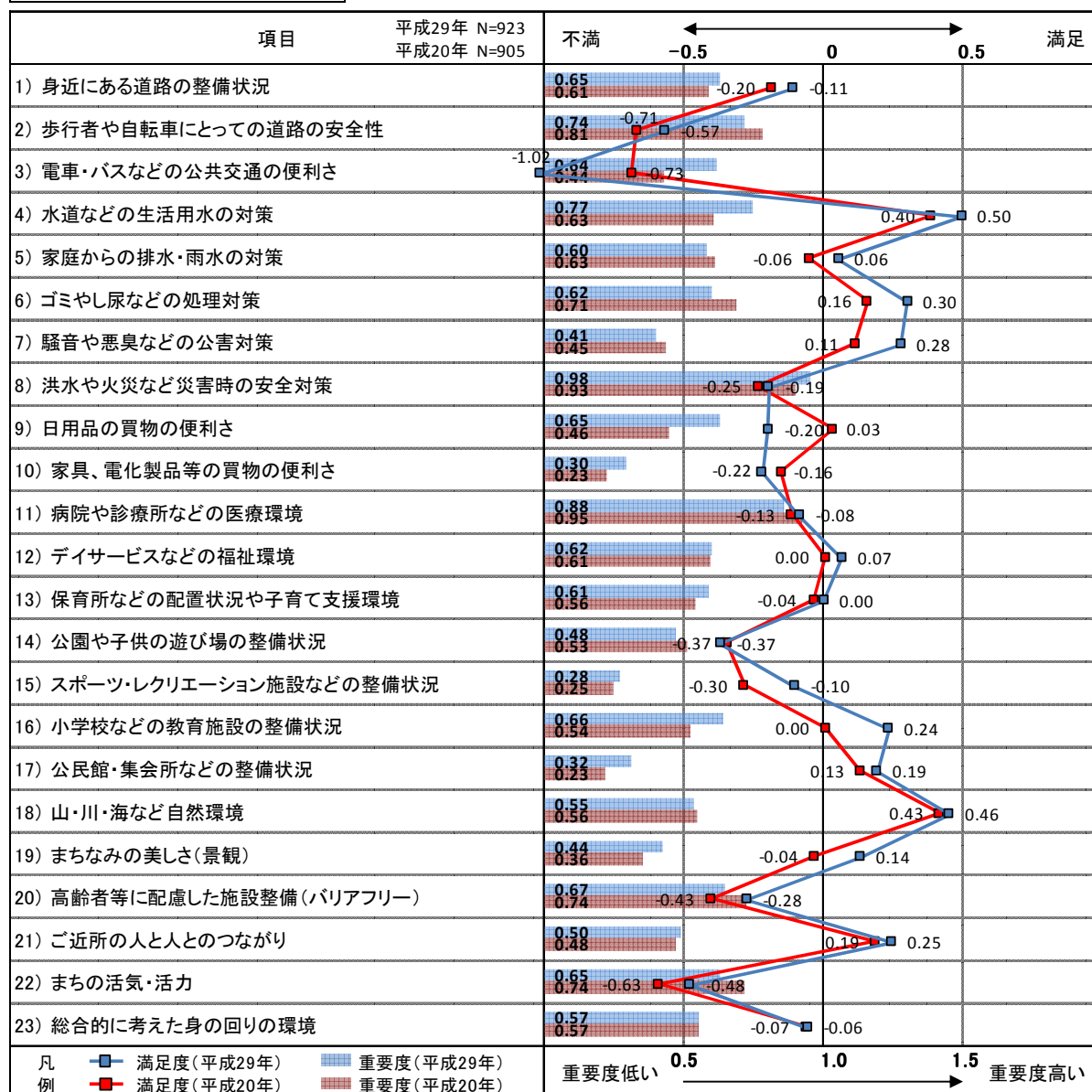
それに対して、「買い物など日常生活が便利なまち」は約 16%減少し、「通勤・通学など交通の便のよいまち」の割合は半減した。

◆問7 あなたのお住まいの地域（問4でお答えになった地域）の生活環境についてどう思いますか。項目ごとにお答え下さい。（各項目の満足度と重要度それぞれに1つずつ選択）

※1～23の各項目について、

5段階評価の満足度「満足（良い）・まあ満足（良い）・普通・やや不満（悪い）・不満（悪い）」と
5段階評価の重要度「重要・まあ重要・普通・やや重要・不要」で回答を得た。

加重平均算出・前回調査比較



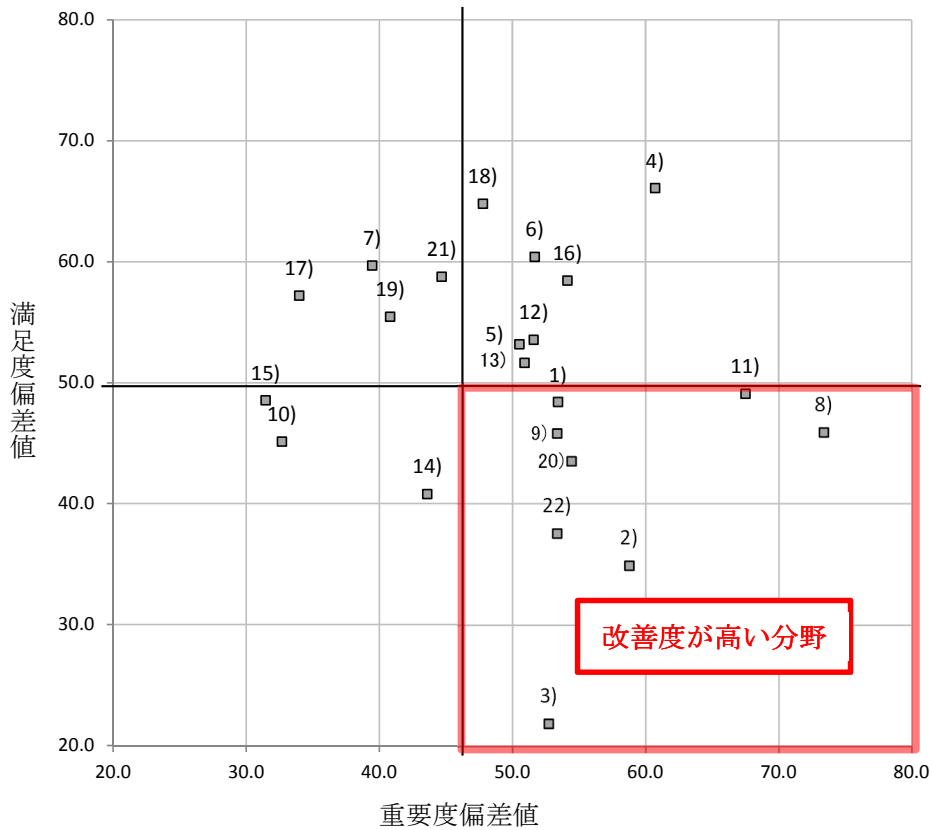
○現在の生活環境について（加重平均算出・前回調査比較）

加重平均を算出し、前回調査との比較を行った。加重平均の換算方法は以下のとおりである。また、無回答は全体の数から除き換算している。

- ・満足度：満足「+2」、やや満足「+1」、普通「0」、やや不満「-1」、不満「-2」
- ・重要度：重要「+2」、まあ重要「+1」、普通「0」、やや重要「-1」、不要「-2」

前回調査と比較して、満足度では「3）電車・バスなどの公共交通の便利さ」と「9）日用品の買物の便利さ」の下降が目立ち、重要度でもそれら2項目の上昇がみられる。

CS分析：全体集計



CS分析：地域別集計

	①旧田辺市 用途地域内	②旧田辺市 都市計画区域内	③旧田辺市 都市計画区域外	④田辺市内 その他の地域
1) 身近にある道路の整備状況	6.60	5.90	1.55	6.20
2) 歩行者や自転車にとっての道路の安全性	3.36	3.07	16.17	4.68
3) 電車・バスなどの公共交通の便利さ	2.51	2.03	16.21	10.83
4) 水道などの生活用水の対策	-24.45	-4.90	-4.42	-15.47
5) 家庭からの排水・雨水の対策	-4.46	-0.55	-15.70	-7.04
6) ゴミやし尿などの処理対策	-2.04	1.80	-9.26	-3.38
7) 騒音や悪臭などの公害対策	-25.97	1.17	-28.07	-23.98
8) 洪水や火災など災害時の安全対策	12.10	2.08	0.07	-2.93
9) 日用品の買物の便利さ	-0.63	-2.49	14.83	17.10
10) 家具、電化製品等の買物の便利さ	-9.57	-6.75	3.41	8.45
11) 病院や診療所などの医療環境	2.73	5.15	12.06	10.41
12) デイサービスなどの福祉環境	1.69	-2.81	3.59	0.35
13) 保育所などの配置状況や子育て支援環境	0.86	1.85	-21.84	5.33
14) 公園や子供の遊び場の整備状況	5.27	-5.49	7.28	-4.93
15) スポーツ・レクリエーション施設などの整備状況	2.53	-9.30	-3.76	-5.03
16) 小学校などの教育施設の整備状況	1.04	-1.60	-15.05	-2.68
17) 公民館・集会所などの整備状況	-3.90	1.13	-10.53	-11.13
18) 山・川・海など自然環境	-5.76	-14.92	-10.11	-14.78
19) まちなみの美しさ(景観)	-4.33	0.77	-1.26	0.03
20) 高齢者等に配慮した施設整備(バリアフリー)	3.53	12.27	7.84	5.13
21) ご近所の人と人とのつながり	-5.35	-11.92	0.60	-3.86
22) まちの活気・活力	17.89	18.70	9.59	12.12

【算出方法】

※最も高い数値を太字で表示

・改善度＝距離×修正指数

・距離＝ $\sqrt{(x-50)^2 + (y-50)^2}$ xは重要度の偏差値、yは満足度の偏差値

・修正指数＝ $\frac{90-\text{角度}}{90}$ 角度は原点(50,50)と点(80,20)を結んだ直線と各プロット位置を通る直線との角度

○現在の生活環境について（CS分析）

市民が満足を感じるには、どの要素の改善に力を入れるべきか解析するため、各生活環境の改善度を算出した。改善度（詳細は前頁【算出方法】を参照）は、数値の高い項目ほど、満足度が低く、重要度が高い項目を示している。

全体の集計において改善度の高い項目は、「2）歩行者や自転車にとっての道路の安全性」「3）電車・バスなどの公共交通の便利さ」「8）洪水や火災など災害時の安全対策」「22）まちの活気・活力」等であることがわかる。

一方、地域別集計において改善度の高い項目をみると、各地域で特色があることがうかがえる。

「①旧田辺市 用途地域内」では、「22）まちの活気・活力」が最も高く、次に「8）洪水や火災など災害時の安全対策」が高い。

「②旧田辺市 都市計画区域内」では、「22）まちの活気・活力」が最も高く、「20）高齢者等に配慮した施設整備（バリアフリー）」が次点であった。

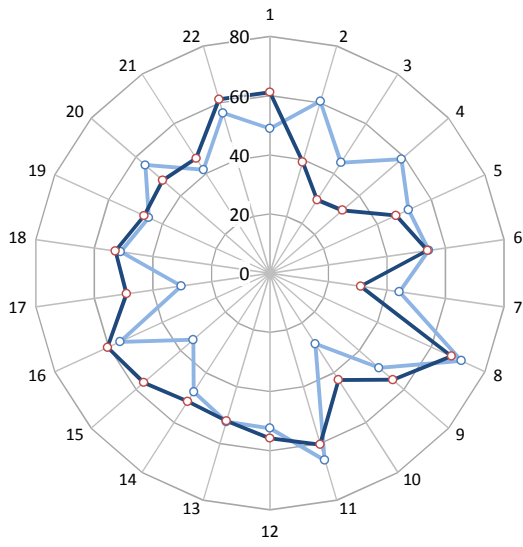
「③旧田辺市 都市計画区域外」では、「3）電車・バスなどの公共交通の便利さ」が最も高く、ほぼ同じ数値で「2）歩行者や自転車にとっての道路の安全性」が次に高い。

「④田辺市内 その他の地域」では、「9）日用品の買物の便利さ」が最も高く、次に「22）まちの活気・活力」が高い結果となった。

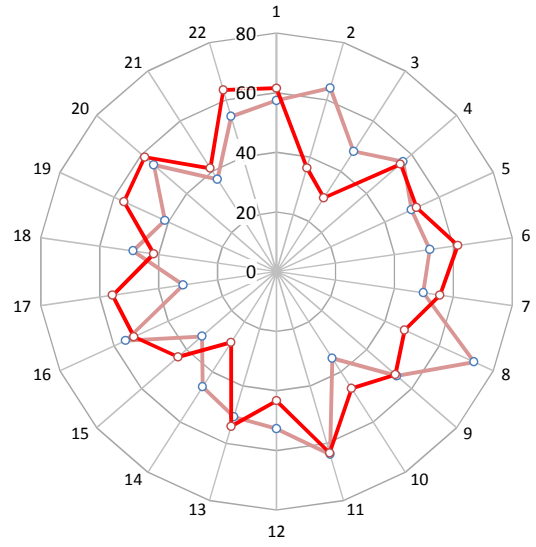
「①旧田辺市 用途地域内」「②旧田辺市 都市計画区域内」においては、改善度が 5.00 以上の高い数値を示す項目は 22 項目中 4 項目程度であり、比較的不満の少ない生活であることがわかる。

それに対して、「③旧田辺市 都市計画区域外」「④田辺市内 その他の地域」においては 7 項目以上を示し、普段の生活において不便を感じている事柄が多いことがわかる。

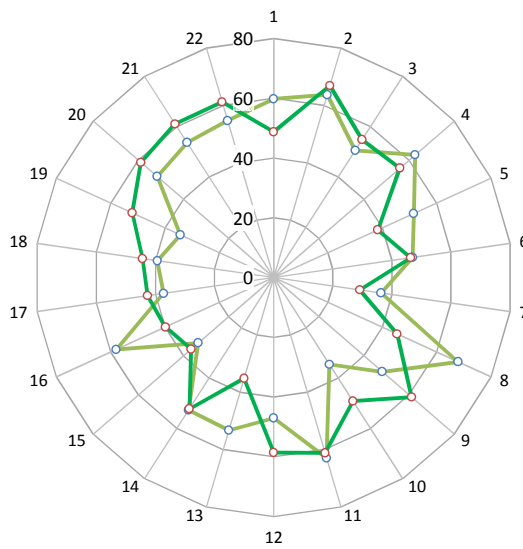
重要度の妥当性：地域別集計



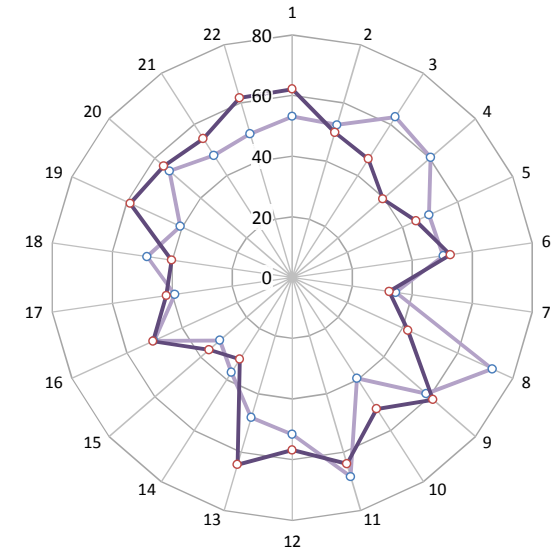
①旧田辺市 用途地域内 重要度偏差値
①旧田辺市 用途地域内 相関係数偏差値



②旧田辺市 都市計画区域内 重要度偏差値
②旧田辺市 都市計画区域内 相関係数偏差値



③旧田辺市 都市計画区域外 重要度偏差値
③旧田辺市 都市計画区域外 相関係数偏差値



④田辺市内 その他の地域 重要度偏差値
④田辺市内 その他の地域 相関係数偏差値

○現在の生活環境について（重要度の妥当性：地域別集計）

総合評価（「23）総合的に考えた身の回りの環境」と、各項目の満足度との相関係数を算出し偏差値への変換を行った。この数値が高いほど、総合的な満足度を決める重要な要因であることを示している。そして、この相関係数偏差値とアンケート回答での重要度偏差値とを比較した。

各地域において、概ね傾向が一致しており、アンケート回答の重要性は妥当であると考えられる。

相関係数より重要度が特に際立って上回る項目は、総合的な満足度には影響しにくい、多くの市民が重要視しているもの（市民が持っている直観的な課題）であるといえる。

「①旧田辺市 用途地域内」では「2）歩行者や自転車にとっての道路の安全性」「4）水道などの生活用水の対策」が高い数値を示す。

「②旧田辺市 都市計画区域内」では「2）歩行者や自転車にとっての道路の安全性」「8）洪水や火災など災害時の安全対策」が特に高い。

「③旧田辺市 都市計画区域外」では「8）洪水や火災など災害時の安全対策」「16）小学校などの教育施設の整備状況」であった。

「④田辺市内 その他の地域」では「4）水道などの生活用水の対策」「8）洪水や火災など災害時の安全対策」という結果となった。

一方、重要度より相関係数が際立って上回る項目は、総合的な満足度に大きく影響するもの（市民意識にある潜在的な課題）であるといえる。

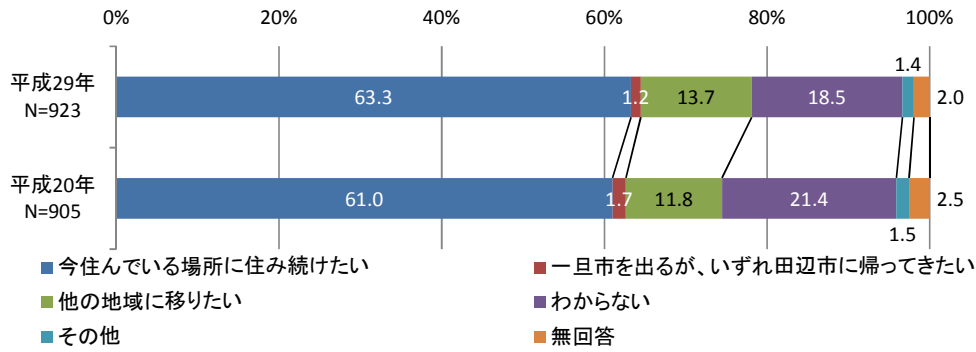
「①旧田辺市 用途地域内」では「15）スポーツ・レクリエーション施設などの整備状況」「17）公民館・集会所などの整備状況」が高いことがわかる。

「②旧田辺市 都市計画区域内」では「17）公民館・集会所などの整備状況」が顕著であった。

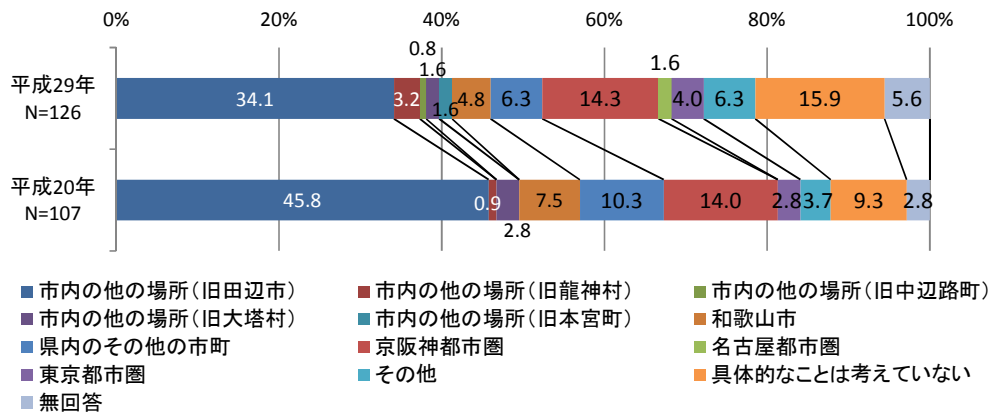
「③旧田辺市 都市計画区域外」では「10）家具、電化製品等の買物の便利さ」「19）まちなみの美しさ（景観）」が高い。

「④田辺市内 その他の地域」では「13）保育所などの配置状況や子育て支援環境」「19）まちなみの美しさ（景観）」という結果となった。

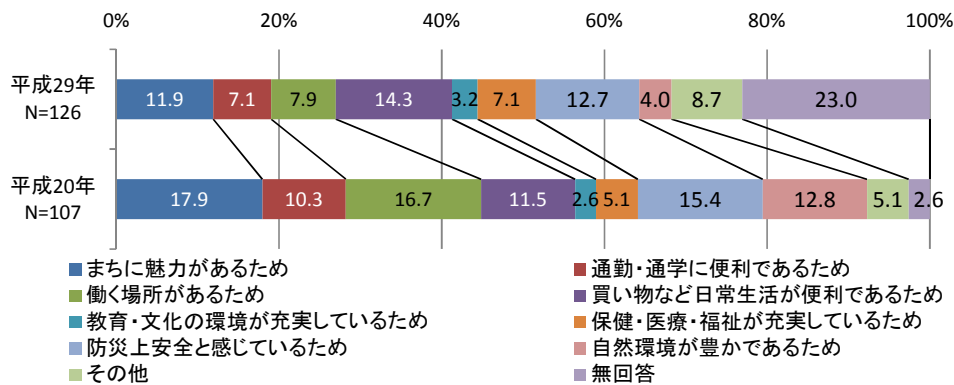
◆問8 あなたは今後もお住まいの地域に住みたいと思いますか。(1つ選択)



【転出の希望先】上記で「3 他の地域に移りたい」を選んだ方のみ、以下の転出の希望先をお答えください。



【転出理由】転出の希望先について、明確な理由があれば、以下の選択肢またはその他の理由にご記入ください。



○今後の居留意向

前回調査と同様、「今住んでいる場所に住み続けたい」の回答が約6割を占め最も多い。傾向に著しい変化は見られないが、「今住んでいる場所に住み続けたい」と「他の地域に移りたい」の回答がそれぞれ約2%程度増加した。

転出の希望先としては、前回調査と比べて約12%減少したものの「市内の他の場所(旧田辺市)」が最も多く約3割を占める。また、「具体的なことは考えていない」が約16%で次に多く、漠然とした転出の希望があることがうかがえる。

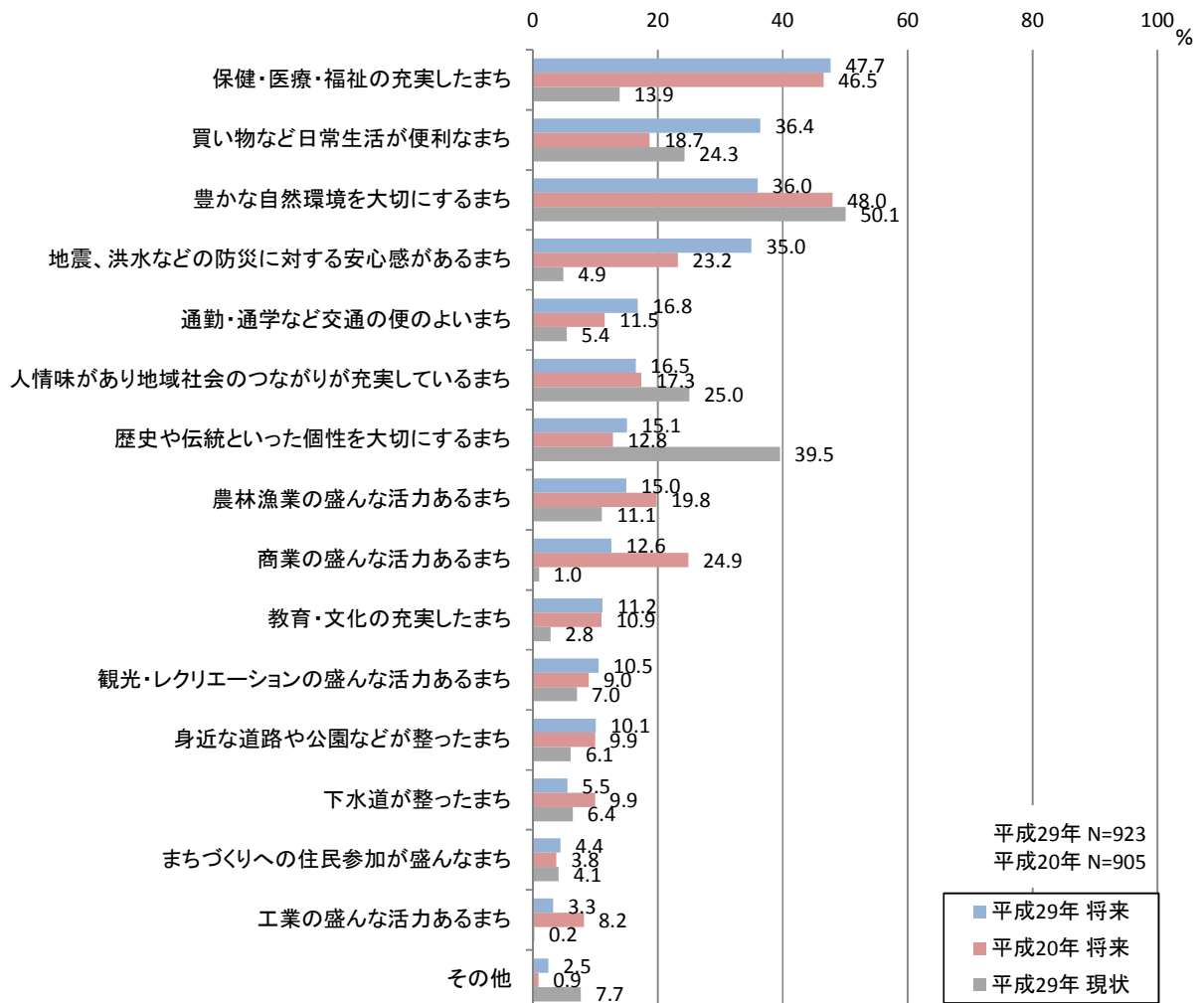
転出理由では、無回答を除くと「買い物など日常生活が便利であるため」が約14%で最も多く、「防災上安全と感じているため」が約13%で次に多い。

【将来の田辺市について】

◆問9 あなたがこうなって欲しい将来の田辺市のイメージはどれだと思いますか。

(3つまで選択)

※回答者数に対する票数を割合で図示



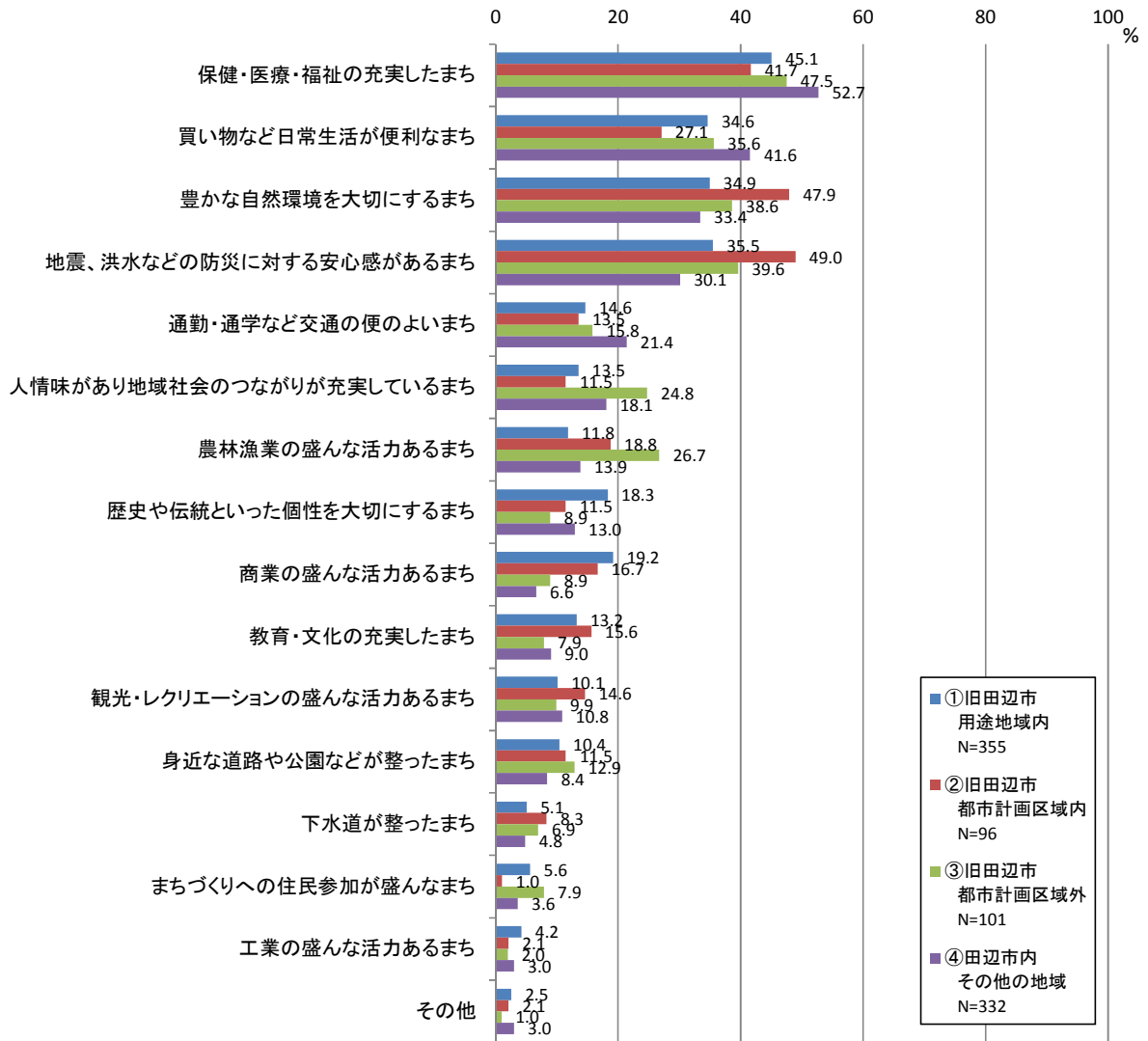
○将来の田辺市のイメージ

前回調査と比較すると、「買い物など日常生活が便利なまち」が約18%、「地震、洪水などの防災に対する安心感があるまち」が約12%増加し、これらの項目は「問6 現在の田辺市のイメージ」において低い数値となっている。

また、今回調査では「保健・医療・福祉の充実したまち」が最も多く半数近くを占め、前回調査で最も多かった「豊かな自然環境を大切にするまち」の割合は約12%減少する結果となった。

日常的な都市サービスや防災対策の充実を図ることが期待されているといえる。

地域別集計



○将来の田辺市のイメージ（地域別集計）

地域別で見ると、各地域で将来に望むイメージに特色があることがわかる。

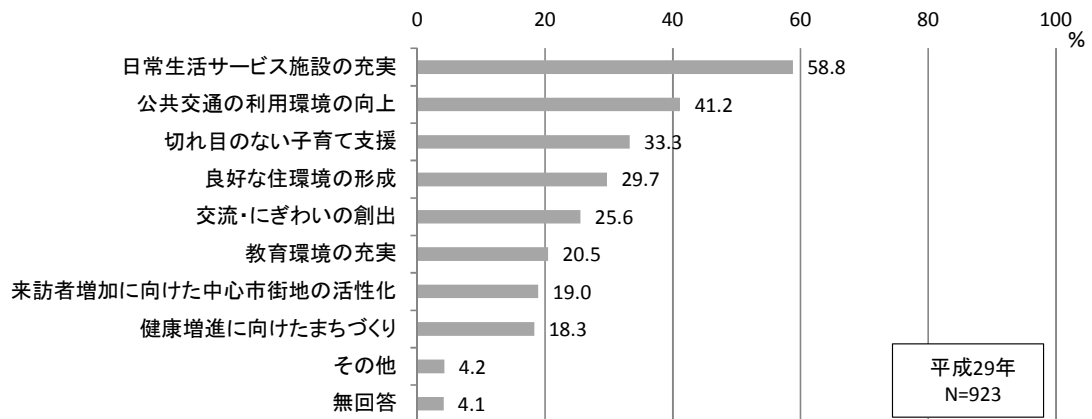
「①旧田辺市 用途地域内」では「保健・医療・福祉の充実したまち」が最も多く、「歴史や伝統といった個性を大切にするまち」「商業の盛んな活力あるまち」が他の地域より多い。

「②旧田辺市 都市計画区域内」では「地震、洪水などの防災に対する安心感があるまち」が最も多く、ほぼ同じ割合で「豊かな自然環境を大切にするまち」が次に多い。また、これらの項目が他の地域と比べ、多くの住民から望まれていることがうかがえる。

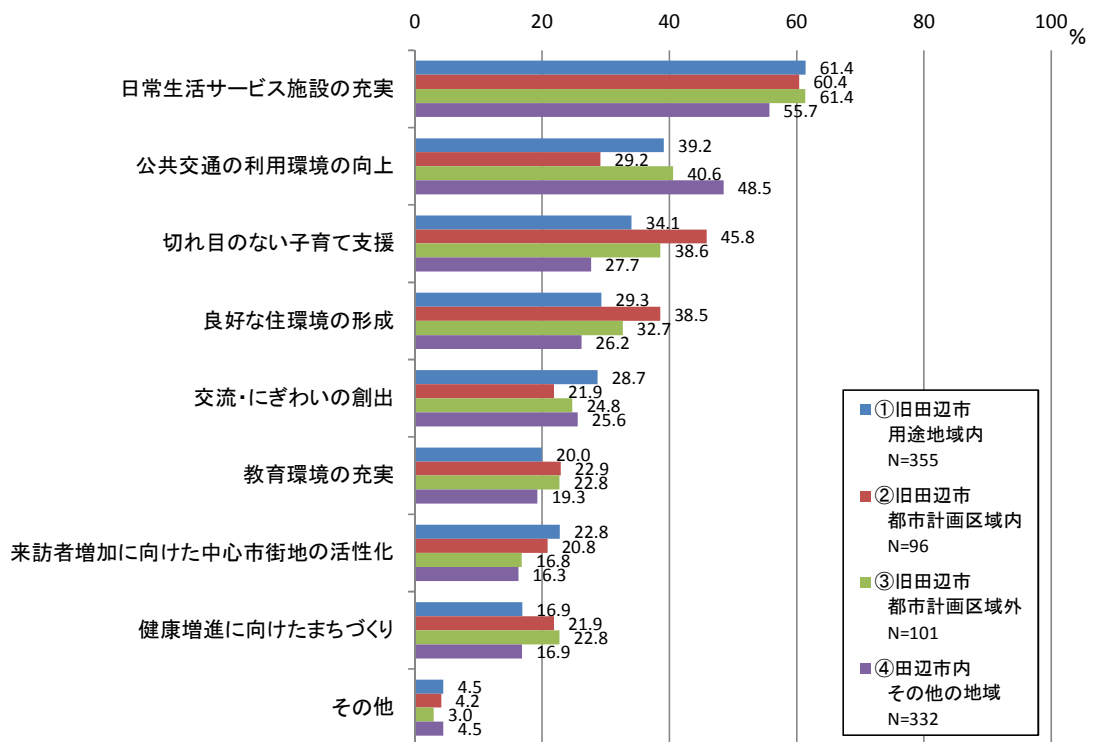
「③旧田辺市 都市計画区域外」では「保健・医療・福祉の充実したまち」が最も多く、「農林漁業の盛んな活力あるまち」「人情味があり地域社会のつながりが充実しているまち」の回答が他の地域と比べ突出している。

「④田辺市内 その他の地域」では「保健・医療・福祉の充実したまち」が最も多く、次に「買い物など日常生活が便利なまち」が多い。また、これらの項目が他の地域より割合が高いことがわかる。

◆問 10 人口減少、少子高齢化社会において、あなたが特に取り組んでほしいと思う施策はどれだと思いますか。(3つまで選択) ※回答者数に対する票数を割合で図示



地域別集計



○取り組んでほしい施策（地域別集計）

「日常生活サービス施設の充実」が、全ての地域で約6割を占め最も多い結果となった。また、「①旧田辺市 用途地域内」、「③旧田辺市 都市計画区域外」、「④田辺市内 その他の地域」では「公共交通の利用環境の向上」が次点で多く、「②旧田辺市 都市計画区域内」では「切れ目のない子育て支援」が次に多い結果となった。

「④田辺市内 その他の地域」では「公共交通の利用環境の向上」が他の地域より顕著に高く、“交通の不便さや高齢化に伴った問題”がうかがえる。「②旧田辺市 都市計画区域内」では「良好な住環境の形成」の回答の割合も高く、“都市の利便性と良好な環境の調和”といった考え方に基づく施策が望まれているといえる。

◆問 11 あなたがお住まいの地域（問 4 でお答えになった地域）のまちづくりについて、望むものは何ですか。分野ごとにお答えください。

※居住地不明の回答は含まない為、全体の数とは一致しない。

①あなたがお住まいの地域の『住宅地』について（2 つまで選択）

凡例: 1位 2位 3位

単位(票)

	平成29年					平成20年
	①旧田辺市 用途地域内	②旧田辺市 都市計画区域内	③旧田辺市 都市計画区域外	④田辺市内 その他の地域	合計	合計
既存住宅地における住環境整備 (身近な道路・公園などの基盤整備)	183	56	57	135	431	451
既存住宅地における住環境整備 (商店や作業所などとの混在の解消)	43	10	9	30	92	75
まちなかにおける便利な住宅地の整備	116	16	10	39	181	154
郊外における新たな住宅地の整備	29	15	15	37	96	66
まちなみの美しい住宅地の整備	85	17	17	41	160	179
わからない	48	17	23	88	176	184
その他	17	2	3	21	43	44

○まちづくりに望むもの（住宅地）

全ての地域で「既存住宅地における住環境整備（身近な道路・公園などの基盤整備）」が最も多い。また、「①旧田辺市 用途地域内」では「まちなかにおける便利な住宅地の整備」が次に多く、「日常的なサービスや店舗等の充実」も重要視されていると考えられる。

②あなたがお住まいの地域の『住宅地のようす』について（2 つまで選択）

凡例: 1位 2位 3位

単位(票)

	平成29年					平成20年
	①旧田辺市 用途地区	②旧田辺市 都市計画区域外	③旧田辺市 都市計画区域外	④田辺市内 その他の地域	合計	合計
戸建て住宅を中心としたゆとりある 閑静な住宅地	169	41	32	87	329	334
戸建て住宅やアパートなどの集合住宅が 共存する住宅地	120	30	5	21	176	269
中高層のマンションなど都市型の住宅地	16	1	1	1	19	17
商店や作業所などが共存する住宅地	64	10	5	18	97	97
周辺の農地と調和した田園型の集落地	25	36	47	55	163	199
豊かな森林などの自然に囲まれた 山間型の集落地	24	8	39	203	274	181
わからない	27	10	11	37	85	71
その他	14	3	2	21	40	26

○まちづくりに望むもの（住宅地のようす）

「①旧田辺市 用途地域内」「②旧田辺市 都市計画区域内」では「戸建て住宅を中心としたゆとりある閑静な住宅地」が多い。一方、「③旧田辺市 都市計画区域外」「④田辺市内 その他の地域」では「周辺の農地と調和した田園型の集落地」「豊かな森林などの自然に囲まれた山間型の集落地」等、「自然環境と共存する住宅地」を希望する声が多い。

③あなたが住まいの地域の『商業地』について（2つまで選択）

凡例: 1位 2位 3位
 単位(票)

	平成29年					平成20年
	①旧田辺市 用途地区	②旧田辺市 都市計画区域外	③旧田辺市 都市計画区域外	④田辺市内 その他の地域	合計	合計
既存の商店や商店街等の維持、活性化	171	39	31	104	345	368
大型店の誘致による商業集積の形成	57	17	6	28	108	110
幹線道路沿いの買い物・飲食などを 中心とした商業地の形成	83	23	21	47	174	127
コンビニエンスストア等の 24時間営業店舗の立地	48	9	16	62	135	89
駐車場の確保	65	18	9	20	112	174
イベントなどで人が集まれる広場の設置	34	8	10	27	79	124
わからない	42	24	28	85	179	196
その他	10	1	3	17	31	26

○まちづくりに望むもの（商業地）

全ての地域で「既存の商店や商店街等の維持、活性化」が最も多い。また、「幹線道路沿いの買い物・飲食などを中心とした商業地の形成」の回答も多くみられる。

地域の特色としては、「①旧田辺市 用途地域内」では「駐車場の確保」が、「④田辺市内 その他の地域」では「コンビニエンスストア等の24時間営業店舗の立地」も望まれている割合が高いことがわかる。

④あなたが住まいの地域の『工業地』について（2つまで選択）

凡例: 1位 2位 3位
 単位(票)

	平成29年					平成20年
	①旧田辺市 用途地区	②旧田辺市 都市計画区域外	③旧田辺市 都市計画区域外	④田辺市内 その他の地域	合計	合計
地元工業の活性化	122	24	24	65	235	244
点在する工場の集約化	15	4	1	6	26	17
新たな工業団地の造成	21	4	4	16	45	42
企業誘致の推進	76	16	19	58	169	197
住宅と工場の混在の解消	16	5	3	3	27	39
住環境と調和した工業地の整備	56	14	11	22	103	120
緑化の推進	38	12	8	31	89	161
わからない	104	42	42	137	325	292
その他	10	1	5	16	32	25

○まちづくりに望むもの（工業地）

「①旧田辺市 用途地域内」では「地元工業の活性化」が最も多く、他の地域でも次点が多い。また、「企業誘致の推進」の回答は各地域で3位であった。

⑤あなたが住まいの地域の『農地』について（1つ選択）

凡例:

1位	2位	3位
----	----	----

単位(票)

	平成29年					平成20年
	①旧田辺市 用途地区	②旧田辺市 都市計画区域外	③旧田辺市 都市計画区域外	④田辺市内 その他の地域	合計	合計
農地はできるだけ保全	121	41	46	109	317	493
優良農地は保全し、その他は 住宅地や商業地、工業地等の宅地へ転用	92	21	19	73	205	145
農地の保全など考えない自由な土地利用	29	7	9	39	84	40
わからない	85	21	19	69	194	157
その他	8	3	1	10	22	19

○まちづくりに望むもの（農地）

全ての地域で「農地はできるだけ保全」が最も多く、「優良農地は保全し、その他は住宅地や商業地、工業地等の宅地へ転用」が各地域で次に多い。

⑥あなたが住まいの地域の『森林』について（1つ選択）

凡例:

1位	2位	3位
----	----	----

単位(票)

	平成29年					平成20年
	①旧田辺市 用途地区	②旧田辺市 都市計画区域外	③旧田辺市 都市計画区域外	④田辺市内 その他の地域	合計	合計
森林はできるだけ保全	175	57	53	174	459	611
優良な森林は保全し、その他は 住宅地や工業団地等として開発	76	18	21	53	168	101
森林の保全など考えない自由な土地利用	8	1	7	13	29	15
わからない	68	17	12	57	154	117
その他	4	1	1	9	15	15

○まちづくりに望むもの（森林）

全ての地域で「森林はできるだけ保全」が最も多い。また、『農地』同様「優良な森林は保全し、その他は住宅地や工業団地等として開発」の回答も多く見受けられる。

⑦あなたが住まいの地域の『土地利用の規制・誘導』について（1つ選択）

凡例:

1位	2位	3位
----	----	----

単位(票)

	平成29年					平成20年
	①旧田辺市 用途地区	②旧田辺市 都市計画区域外	③旧田辺市 都市計画区域外	④田辺市内 その他の地域	合計	合計
住環境を守るための、住宅地、 商業地、工業地等のメリハリある土地利用規制	156	41	40	81	318	417
住環境にふさわしくない利用のみを 制限する緩やかな土地利用規制	81	25	20	70	196	189
住環境など特に考えない自由な土地利用	17	3	6	27	53	30
わからない	72	24	25	113	234	207
その他	4	-	2	6	12	9

○まちづくりに望むもの（土地利用の規制・誘導）

「住環境を守るための、住宅地、商業地、工業地等のメリハリある土地利用規制」が「住環境にふさわしくない利用のみを制限する緩やかな土地利用規制」の回答の約1.6倍となった。前回調査ではこの差は2倍以上で、緩やかな土地利用規制を受け入れる声が多くなったことがわかる。

⑧あなたが住まいの地域の『道路』について（2つまで選択）

凡例: 1位 2位 3位
単位(票)

	平成29年					平成20年
	①旧田辺市 用途地区	②旧田辺市 都市計画区域外	③旧田辺市 都市計画区域外	④田辺市内 その他の地域	合計	合計
周辺の市町につながる幹線道路の整備	63	18	31	101	213	148
市内の地域間を結ぶ道路網の整備	67	16	22	43	148	177
身近な生活道路の整備	151	45	40	133	369	417
歩道や交通安全施設 (照明、カーブミラーなど)の整備	153	44	36	121	354	400
歩道の舗装など景観に配慮した 美しい道路の整備	84	21	17	44	166	174
わからない	22	8	5	27	62	57
その他	16	2	2	12	32	26

○まちづくりに望むもの（道路）

前回調査同様、「身近な生活道路の整備」と「歩道や交通安全施設（照明、カーブミラーなど）の整備」の回答がほぼ同じ票数で多い。また、「①旧田辺市 用途地域内」「②旧田辺市 都市計画区域内」では「歩道の舗装など景観に配慮した美しい道路の整備」の回答が3番目に多い一方、「③旧田辺市 都市計画区域外」「④田辺市内 その他の地域」では「周辺の市町につながる幹線道路の整備」の回答が多くなった。

⑨あなたが住まいの地域の『公園・緑地等』について（2つまで選択）

凡例: 1位 2位 3位
単位(票)

	平成29年					平成20年
	①旧田辺市 用途地区	②旧田辺市 都市計画区域外	③旧田辺市 都市計画区域外	④田辺市内 その他の地域	合計	合計
身近な公園や子供の遊び場の整備	153	41	38	114	346	375
広域からも利用できる大規模な公園の整備	28	9	11	26	74	72
災害時に避難できる公園の整備	159	37	30	93	319	321
親水空間(会津川の水辺など)の整備	50	15	13	5	83	105
海や川などと公園や森林などを結ぶ整備 (水と緑のネットワーク整備)	47	12	16	26	101	132
森林の自然環境を活かした森林公園の整備	47	19	21	104	191	186
わからない	34	10	14	62	120	112
その他	7	3	-	10	20	20

○まちづくりに望むもの（公園・緑地等）

各地域において、「身近な公園や子供の遊び場の整備」「災害時に避難できる公園の整備」が多い結果となった。

「④田辺市内 その他の地域」では「森林の自然環境を活かした森林公園の整備」が2番目に多く、豊かな自然の観光資源を活かす緑地への意識が高いことがうかがえる。

⑩あなたが住まいの地域の『観光・レクリエーション』について（2つまで選択）

凡例: 1位 2位 3位
単位(票)

	平成29年					平成20年
	①旧田辺市 用途地区	②旧田辺市 都市計画区域外	③旧田辺市 都市計画区域外	④田辺市内 その他の地域	合計	合計
体験型・交流型施設の整備	98	23	23	63	207	181
自然環境(山、川、海)を活かした施設の整備	158	46	39	151	394	430
農林漁業資源を活かした施設の整備	49	19	22	42	132	161
歴史・文化資源を核とした、周辺も一体となった施設の整備	83	15	11	72	181	163
スポーツ施設の整備	68	16	20	41	145	174
わからない	56	21	18	66	161	157
その他	8	1	3	8	20	21

○まちづくりに望むもの（観光・レクリエーション）

前回調査同様、全ての地域で「自然環境（山、川、海）を活かした施設の整備」が最も多い。

次点以下の項目の特徴としては、「②旧田辺市 都市計画区域内」「③旧田辺市 都市計画区域外」は「体験型・交流型施設の整備」が次に多く、「農林漁業資源を活かした施設の整備」もほぼ同じ割合である。一方、「①旧田辺市 用途地域内」「④田辺市内 その他の地域」は「体験型・交流型施設の整備」と「歴史・文化資源を核とした、周辺も一体となった施設の整備」の回答が多い。

⑪あなたが住まいの地域の『景観』について（2つまで選択）

凡例: 1位 2位 3位
単位(票)

	平成29年					平成20年
	①旧田辺市 用途地区	②旧田辺市 都市計画区域外	③旧田辺市 都市計画区域外	④田辺市内 その他の地域	合計	合計
建物の外観に統一感と調和のある景観づくり	50	9	8	24	91	114
宣伝看板などの屋外広告物に配慮した景観づくり	36	2	4	19	61	67
市街地の電線が地中化された美しい景観づくり	85	21	10	33	149	195
水・緑など自然と調和が図られた景観づくり	123	55	51	131	360	450
歴史的資源を活用した景観づくり	58	15	19	80	172	113
地域の象徴や目じるしになるような景観物づくり	78	16	30	62	186	178
わからない	60	19	11	73	163	148
その他	6	-	1	5	12	19

○まちづくりに望むもの（景観）

前回調査同様、「水・緑など自然と調和が図られた景観づくり」がすべての地域で最も多い。また、「①旧田辺市 用途地域内」「②旧田辺市 都市計画区域内」では「市街地の電線が地中化された美しい景観づくり」が次に多く、「③旧田辺市 都市計画区域外」「④田辺市内 その他の地域」では「歴史的資源を活用した景観づくり」と「地域の象徴や目じるしになるような景観物づくり」の回答が多い結果となった。

⑫あなたが住まいの地域の『防災・減災』について（3つまで選択）

凡例: 1位 2位 3位
 単位(票)

	平成29年					平成20年
	①旧田辺市 用途地区	②旧田辺市 都市計画区域外	③旧田辺市 都市計画区域外	④田辺市内 その他の地域	合計	合計
津波対策(避難対策)の推進	181	33	10	7	231	-
津波対策(予防対策)の推進	116	21	8	4	149	-
洪水対策(避難対策)の推進	59	23	15	72	169	-
洪水対策(予防対策)の推進	50	25	31	89	195	-
土砂災害対策(避難対策)の推進	38	14	25	114	191	-
土砂災害対策(予防対策)の推進	54	28	48	170	300	-
建築物等の耐震化と災害に強い まちづくりの推進	116	26	24	57	223	-
防災意識の高揚	67	13	15	42	137	-
地域の防災体制づくりの推進	67	20	19	76	182	-
行政の防災体制の強化推進	69	19	13	75	176	-
わからない	17	6	5	30	58	-
その他	6	2	1	3	12	-

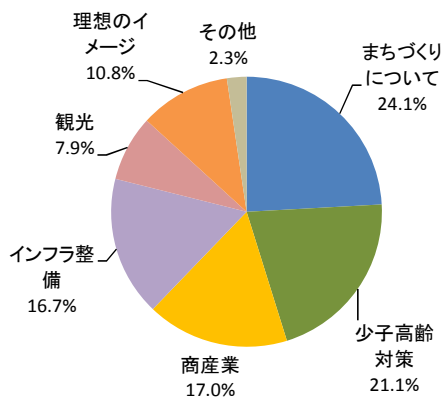
※平成20年調査 設問なし

○まちづくりに望むもの（防災・減災）

「①旧田辺市 用途地域内」「②旧田辺市 都市計画区域内」では「津波対策（避難対策）の推進」が最も多く、「③旧田辺市 都市計画区域外」「④田辺市内 その他の地域」では「土砂災害対策（予防対策）の推進」が最も多い回答となった。

南海トラフ地震が警戒される昨今において、海辺に近い地域は“建築物の耐震や津波の対策等”が重要視されていることがわかる。また、山地に近づくにつれ、“局所豪雨等による土砂災害への対策や洪水対策”を求める声が多いことがわかる。

◆問 12 あなたが田辺市のまちづくりについて考えていること、重要だと思うこと等がありましたら下記にお書きください。(自由回答)



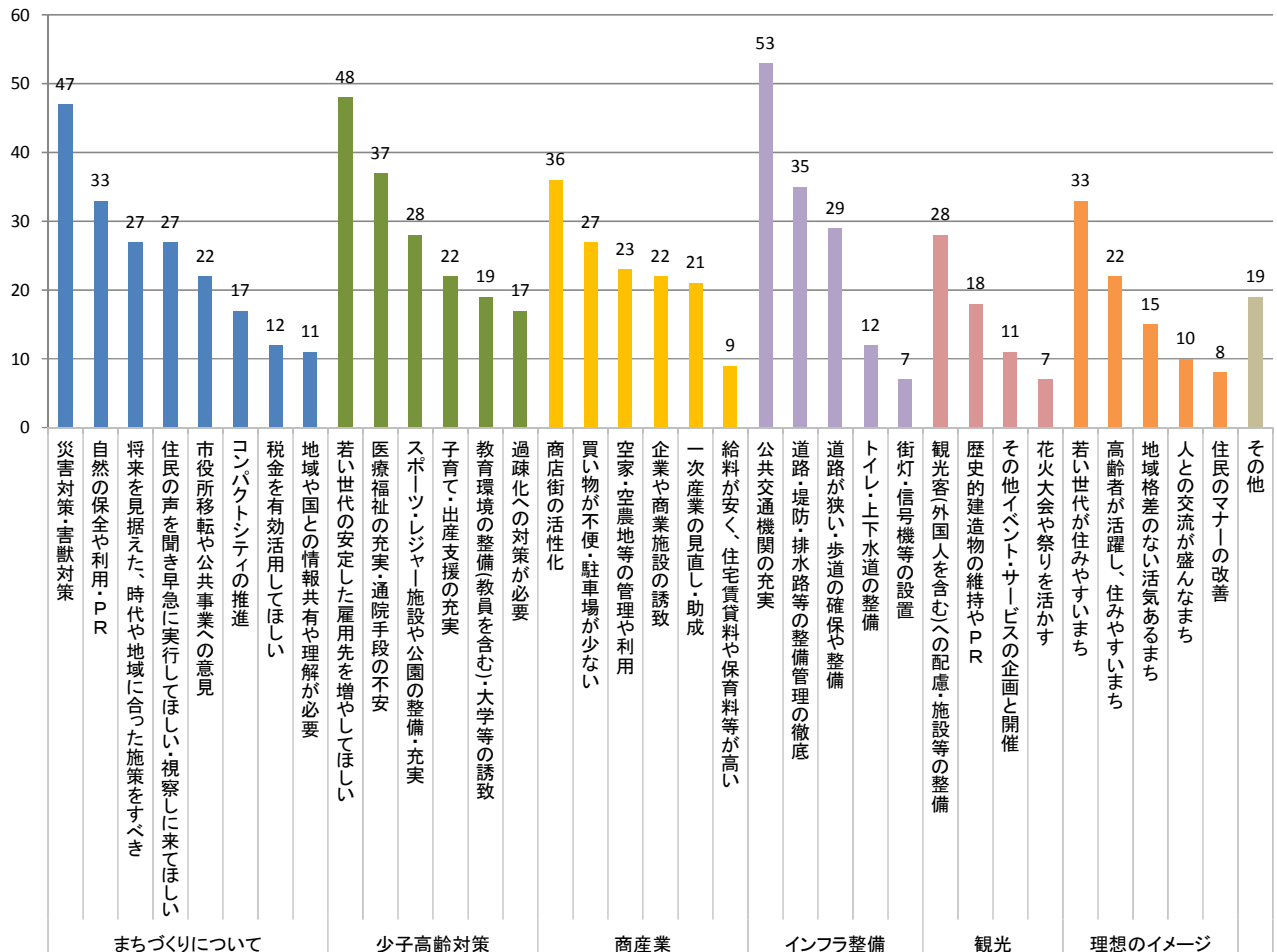
○これからのまちづくりについて

自由回答は 923 票中 305 票 (約 33%) に記入され、意見は大きく 6 つの項目に分類することができた。

市政やまちづくり事業に対する要望の「まちづくりについて」、過疎化などについての「少子高齢対策」、地域の「商産業」への意見、道路整備の希望などの「インフラ整備」、「観光」へのアイデア、“こんなまちになってほしい” という「理想のイメージ」についてである。

6 項目を詳細にみると、下記グラフのとおり分類することができた。

(実数)



「まちづくりについて」の項目では「災害対策・害獣対策」が最も多く、「インフラ整備」の項目においても「道路・堤防・排水路等の整備管理の徹底」や「道路幅員拡張や歩道の確保、安全施設の設置」の要望が多いことから、居住地周辺の安全・安心が強く求められていることがわかる。

今回調査の回答者の半分以上が60歳以上であったが、「若い世代への支援や雇用先の充実」の意見が多数みられた。一方、「医療福祉の充実や、車免許返納後の通院の不安」、「公共交通機関の充実」などの要望も多いことから、郊外部の居住者や高齢者にとっての日常生活の不便さもうかがえる。また、市民の満足度や市の魅力向上のための施策として、“大人や高齢者も楽しめるスポーツ施設”“子供用公園遊具の補修整備”などの充実を強く求める意見が寄せられた。

「商産業」「観光」の項目においては、“シャッター街や空家”への指摘と“観光客向けの施設や店舗等の充実”を望む声が多く、まちの活気を取り戻すことが急務であるとする市民が多いことがわかる。

一方で、“商業の立て直しを短期間で行うことは現実的に難しい”と感じる市民もいる。そのため、“既存事業や一次産業に注力・助成”“自然環境を活かしたまちづくり”を優先すべきとの声も見受けられた。

「その他」の意見は、“市政の意識改革”“ネット環境の整備”に関する声が多かった。